

## (1) 医師（院長）の立場から

原 信 之

### (1) A DIRECTOR'S OPINION

Nobuyuki HARA

**要旨** 政策医療ネットワークの一環として、呼吸器疾患ネットワーク（呼吸器ネット）が組織化されることになり、今年（平成15年）で3年目を迎える。組織は、国立療養所近畿中央病院（高度専門医療施設）をセンターとして全国8ブロックに分かれ、それぞれに基幹施設とその地区の呼吸器専門医療施設が所属し、全体として54施設から構成されることになる。

呼吸器ネットの目的は、呼吸器を専門とする施設がネットワークを介し共同して政策医療（診療・臨床研究・教育研修・情報発信）を推進し、国立病院にふさわしい医療を国民に提供することである。これまでネットワークを通して、臨床研究では結核、肺癌、びまん性肺疾患に

関するグループ研究を、診療面では臨床評価指標作成、結核・肺癌に関するブロックごとの教育研修などが実施され、成果を上げてきた。今後の課題は、1) 担当責任施設を中心に、結核・肺癌・びまん性肺疾患・呼吸不全の症例データーを、呼吸器ネット参加施設からいかにして集積するか、2) 参加施設が持つ豊富な呼吸器疾患（表1）を対象とした臨床試験（薬剤治験、診断・治療技術開発など）の実施である。

前者は、本邦の呼吸器疾患の疫学研究、診断・治療のガイドライン作成と標準化に、後者は、近年指摘されている臨床治験の空洞化対策に貢献するものと考えられる。これらを実施するにあたって、呼吸器ネット参加施設から要望、問題点をアンケートにて収集し、38施設から回答を得た。症例登録、治験への参加を希望する施設はそれぞれ74%、79%、し難い施設は2%、6%、残りは未定で、8割に参加の意志が確認された。しかし、これらを実施するには、登録するための専任のスタッフ、コンピューター、登録用紙記載・整理のための人材、さらに疾患登録の際の種々の問題点（表2）が指摘され、今後これらの解決が必要である。いずれにしても、これだけの専門施設からなるネットワークが実際に稼働すれば、呼吸器病学の発展、医療への貢献度は計り知れないものがある。ぜひ、この夢を実現していきたいものである。

謝辞：アンケートにご協力下さいました施設に感謝を申し上げます。

（平成16年6月28日受付）

（平成16年8月19日受理）

表 1 38施設の疾患別入院患者数（平成14年度）

肺結核	6,472 例
肺癌	2,840
気管支喘息	2,867
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	K-1,617
間質性肺疾患	661
呼吸不全	1,191

表 2 疾患登録の際の要望

- ・必要最低限の項目を含む簡単な登録用紙
- ・施設の退院サマリーとドッキングした登録用紙
- ・患者のプライバシーの保護
- ・登録する側、受ける側の人材確保
- ・登録専用コンピューター
- ・登録症例の整理（センター化）
- ・各施設が利用し易いシステム

国立療養所福岡東病院（現：国立病院機構福岡東センター）National Fukuoka-higashi Hospital 院長

Address for reprints: Nobuyuki Hara, Director, NHO Fukuoka-higashi Medical Center, 1-1-1, Chidori, Koga, Fukuoka 811-3195 JAPAN

Received June 28, 2004

Accepted August 19, 2004